

第25回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成25年1月

応募者名:大分県 別府市

事業の名称:亀川駅周辺整備事業

実施都市名:大分県 別府市

事業目的

亀川駅は市北部に位置し、本市の北の玄関口であるとともに、別府八湯の一つである亀川温泉、身体障害者授産施設や福祉工場を持つ「太陽の家」、温泉治療を取り入れている「国立病院機構別府医療センター」の他、文教施設などが集中しており住宅団地も多く存在している。亀川駅周辺は鉄道で東西に分断されており、駅前広場へのアクセスが未整備で自由通路や駅前広場を整備することで誰もが安心して利用できる施設改善を目的に整備を行った。

事業概要

事業名称: 亀川駅周辺整備事業

路線名: 都市計画道路3・3・7号亀川駅東線(東口広場)

都市計画道路8・7・1号亀川駅自由通路

都市計画道路3・4・15号亀川駅西線(西口広場)

事業箇所: 大分県 別府市亀川浜田町

事業延長: 東口駅前広場3,000m²

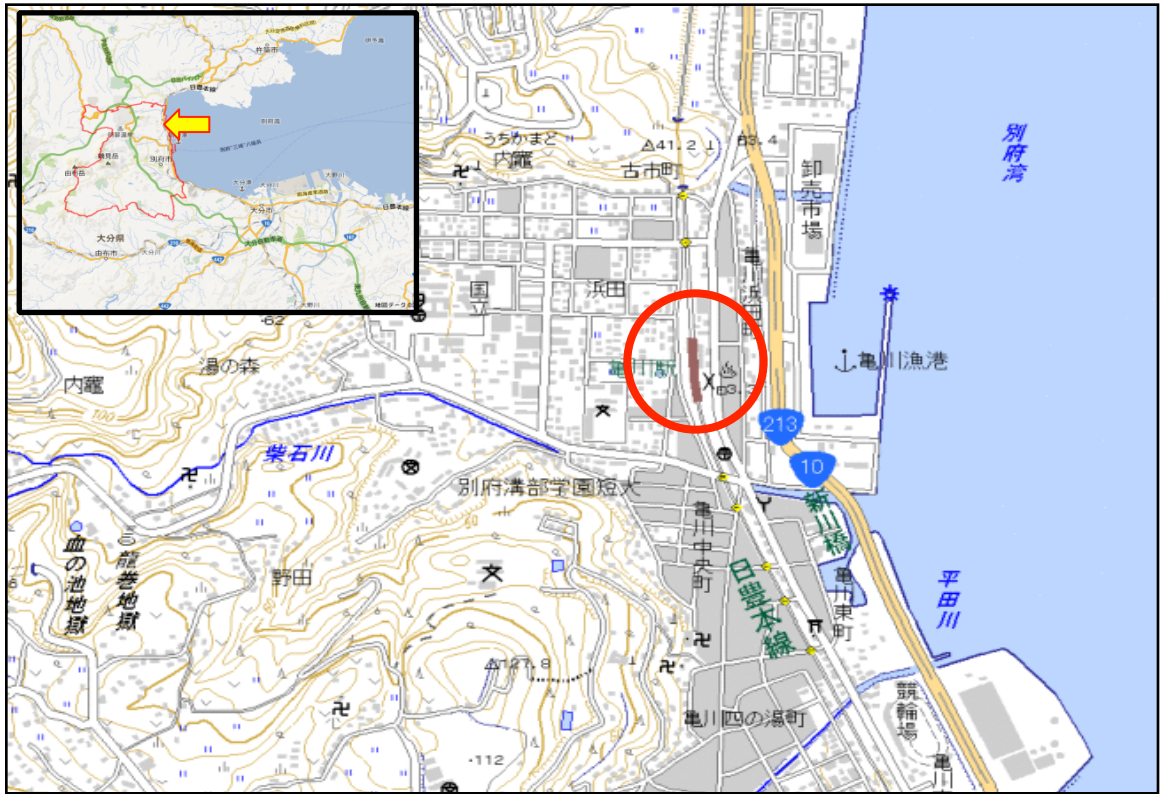
自由通路30m、西口駅前広場600m²

事業費: 約10億円

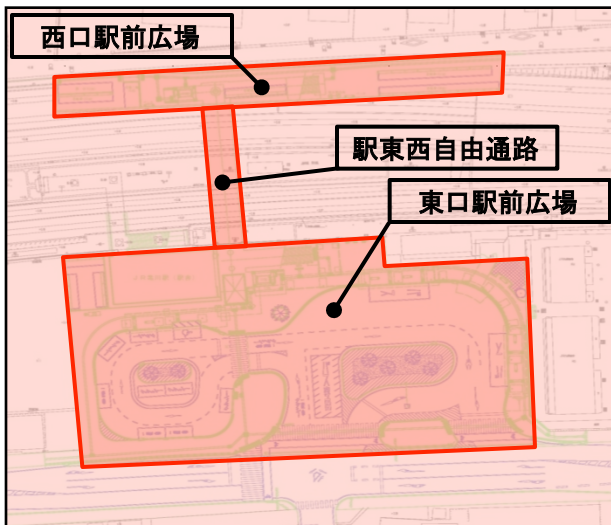
事業実施期間: 平成18年度～平成23年

本事業は、障害者の就業の場である「太陽の家」、温泉治療を取り入れた「別府医療センター」、小学校、専門学校、大学等の文教施設が多数あり、利用者も多いが広場が未整備で危険な状態であった。駅利用者の7割が西側に集中、駅へのアクセスに危険箇所を横断する状態であり、車いす等の利用者からも整備要望が高かった。

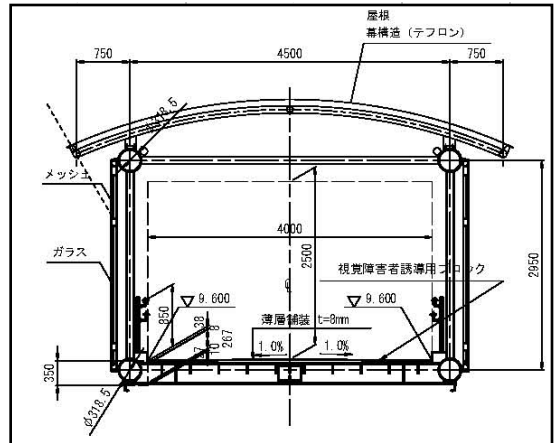
事業位置図



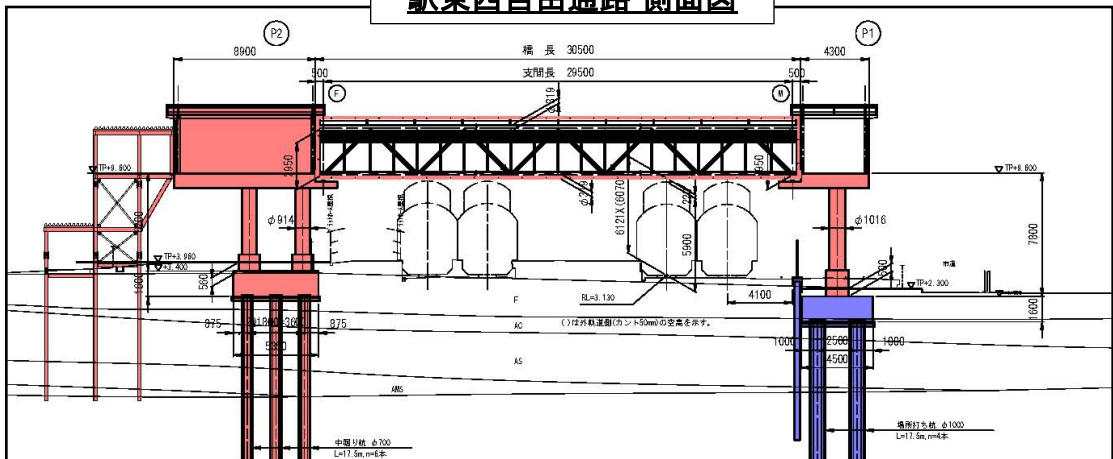
全体図(平面図・側面図・横断面図)



駅東西自由通路 横断面図



駅東西自由通路 側面図



亀川駅周辺の整備効果アピール資料



完成した東口駅前広場



自由通路のEV
(車いすの利用に適した双方式EV)



○事業概要

事業名: 亀川駅周辺整備事業
(交通結节点改善事業)

路線名: (都) 亀川駅西線
(都) 亀川駅自由通路
(都) 亀川駅東線

事業箇所: 別府市亀川浜田町

事業延長: 西口駅前広場 600㎡
自由通路 30m
東口駅前広場 3,000㎡

総事業費: 約10億

事業期間: 平成18年度から平成23年度

○交通量調査結果(車いす利用者)

供用前 2人/日(平日)



供用後 39人/日(平日)

「整備効果」

- ・歩行者の移動サービス向上: 本事業を行う際、「別府市交通バリアフリー基本構想」を策定。ワークショップ等が出た意見で要望や改善の多かった車いすでの公共交通機関の利用について、踏切を跨ぐ自由通路の開通により実現された。
- ・歩行時間短縮: 13分→4.2分
- ・車輛事故発生件数: 6件→0件

「その他の事業効果」

地元のまちづくり団体より、亀川地区の活性化に向けた意見や提案が多数寄せられるようになりました。西側の都市計画道路及び都市再生整備計画により新たな事業化が決定された。(H25年度より着手)

事業前写真

平成17年3月撮影



平成17年6月撮影



事業後写真

平成24年3月撮影



平成24年3月撮影

